

第310回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成26年7月28日（月）午前11時00分より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 8人 出席委員6人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
新谷 達夫	委員	大久保 千春	委員
田村 明子	委員	尾畑 留美子	委員

会社側出席者

代表取締役社長	室川 治久
取締役編成局長 兼 放送番組審議会事務局長	
	須佐 博樹
取締役（報道・制作・国際担当）	平野 真一
執行役員報道制作局長	稲田 裕之
報道制作局制作部長	小木 裕介
報道制作局 合評番組プロデューサー	大橋 義宏

事務局	増子 隆	水野 明子
-----	------	-------

4 議 題

1) 番組合評

「アルビレックスタイムス プラス」

[放送：7月19日（土）16:30-17:00]

(説明：番組プロデューサー 大橋 義宏)

2) 会社報告

①6月の視聴者の意見。(報告：番組審議会事務局)

②講じた措置、公表など定例報告等。(報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要（委員の意見）

会社側から、この番組は、サッカー・アルビレックス新潟の、地上波の民放では初めてのクラブ・オフィシャル応援番組であり、今年度内4回の放送を予定し、その初回であること。そして、番組を通じて、サッカーファンのみならず、ファンでない方にも選手・スタジアムの魅力を知っていただき、以前のように、スタジアムを大勢のサポーターでいっぱいになりたいという思いがあるとの説明があった。

●メインで取り上げた田中亜土夢選手は、子供たちへのメッセージも多く、自然体で好印象だった。

●選手のおすすめ料理メニューのコーナーでは、実際に選手自身が食べて紹介すると選手の人柄が伝わったのではないか。

●盛り沢山の情報がテンポよく展開され、楽しい番組だった。

●最初から田中選手が取り上げられていたが、やや唐突で、チ

ームのスタメン、順位、注目選手などの紹介の後で、田中選手が出てくると、田中選手のチームでの立ち位置がわかり、見やすかったのではないか。

●ゴールシーンのハイライトは、W杯の強烈な印象の後なので期待しなかったが、迫力・スピード・技術が予想以上だった。

●アルビの選手が新潟で普通の生活をしているのがわかり、親しみが持てた。

●サマーフェスタというイベントの目を引く映像は出てくるが説明不足で、よくわからないまま終わってしまった。

●番組の入り方に注文あり。前半戦の総括と後半戦の見どころから入るべきではなかったか。

●選手のおすすめ料理メニューよりも、チームの現状や選手の紹介、監督インタビューが見たかった。

●地上波の放送 1 回目となると、アルビの歴史、J 1 昇格の感動シーンやJ 1 降格の危機などの映像・紹介があってもよかったのではないか。

●すばらしいゴールシーンなど良いところだけでなく、練習の厳しさや負けた悔しさなど、スポーツとしての現場というものがあってよかったのではないか。

●第 1 回目、田中選手が、アルビレックスの代表人物として、今何を考え、何を伝えようとしているのか、メッセージとして強く出てくると期待していたが、言葉の中に強いメッセージがなく、プロスポーツチームとしてのアピールが弱いと感じた。

●チームのイメージをアップして、ファンを増やす意図があるとしたら、メッセージが弱い。次回以降、ストーリーの完結に期待する。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

6月…… 135件。

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成26年6月23日)から昨日(平成26年7月27日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回、第309回審議会では

「その時あなたはどうする

～新潟地震50年 未来へのメッセージ～」

を審議いただきました。

委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧します。

8 今回の第310回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項（委員への配布資料）

- ・6月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・民間放送新聞（6/23、7/3、13、23号）
- ・BPO報告 NO.137、138

以上